

様式(細則 5-2)

平成23年 3月 18日

浜田市議会議長 牛尾博美様

議員名

三浦一雄印

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成22年10月20日 ~ 10月22日

2. 視察又は訪問先

千葉県銚子市役所、流山市役所

3. 調査経費

54,748 円

4. 調査研究活動の概要

81紙参照



浜田市議会議員 牛尾博美 様

浜田市議会議員  
報告者 三浦 一雄

## 会派視察研修報告書

### 視察の目的

浜田医療センターは、平成21年11月1日浜田市浅井町の浜田駅北地区に移転新築となり、早一年半を経過しようとしています。昨年5月には、県内で二番目となるPET・CT（高機能放射線治療装置・・・がん診療機能拠点病院）が導入され、島根県西部の医療の充実が如実に現れ、住民に一つの安心感が持たれていると思っています。

浜田医療センターは、独立行政法人国立病院機構での運営となっていますが、地方自治体が病院経営する場合、多くの課題がある中で千葉県銚子市の2年前には市立総合病院休止となり、昨年5月から再生されたとの情報を基に調査に行ってきました。また、地域福祉センター（老人憩いの家）の利用状況や、マリナー施設の視察を行い、浜田市長浜町の元貯木場跡地利用の活用策に繋がればと思いにたったの視察でした。

千葉県流山市では、議会改革が積極的に実施されて全国的にも先進地となっていますので、今回は高機能携帯電話（スマートフォン）導入経過を調査してきました。



### 視察先（行動日程と視察内容）

10月20日（水） 朝7時45分浜田市役所を出発し広島空港へ。視察研修計画段階では、石見空港を利用しようとして申請しましたが、帰りの伊丹～石見間のチケットが確保できなかったため、急遽広島空港に変更したのです。羽田空港到着後、千葉県銚子市への移動となりましたが、銚子駅到着は夕方の5時半過ぎでした。

#### 10月21日（木）市立総合病院の再生事業について

朝9時から、銚子市議会議員長応接室にて桜井副議長から歓迎の挨拶があり、『自治体が抱える病院経営は、医師確保を含め厳しい現状にある。』と発言され、病院再生には多くの課題が残されている現状を見たように思えました。担当者から、銚子市立総合病院休止（平成20年9月30日）の経緯を説明されました。

昭和26年9月3日に開設されて以降、半世紀以上にわたる病院経営の背景には、大学病院医局への医師の引き上げ、患者数の減少、入院・外来収益の減少による経営悪化を基に、病院長の給料月額93,000

円の引き下げ、職員の給与カットも実施され、平成20年8月から3年間、市長は15%、副市長・教育長は10%、一般職員は平均4.5%となり、約6億円の人件費削減と報告がありました。

このような経過の中で、市長リコールと市立総合病院休止は住民にとって大きな精神的負担となり、不満が高まり再生に向けた住民の動きが前面に出たようです。

再生に当たっての市立総合病院のあり方として、公立病院の果たすべき役割の明確化・経営形態の見直し・経営感覚に富む人材の登用・医師等の人材確保を念頭に、野平市長の『いのちの市政』を理念として、温かみのある市民のための良質な医療の提供を目指し、昨年5月開業となっていました。



病院再生に伴っての人材の確保は、全国共通の悩みとなっていますが、銚子市立総合病院は医師の確保については、新設する医療法人の理事らの人脈を通じ、複数の大学及び病院と医師供給コネクションを保持し、看護師や医療技術員・事務員・技能労務員は、市立病院休止時の従事者を中心に地元医療圏で確保されていました。

病院の経営形態については、公設民営を中心として病院事業の経営改革に強い意志を持ち、経営感覚に富む人材を幹部職員に登用され、医師をはじめ全職員の経営に対する意識改革の構築を、強く訴えられました。

### 老人憩いの家・地域福祉センターの活動状況について

銚子市老人憩いの家・地域福祉センター施設を訪問しました。この施設は浜田市を対象とした場合、浜田市総合福祉センター的な施設でした。使用料はすべて無料でした。

老人憩いの家の理念として、高齢者に対し教養の向上とレクリエーション等のため気軽に利用できる場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする施設でした。設置及び管理に関する条例も整備され、利用者の皆さんは活気づいていました。

この日は、男性群を中心に将棋大会が行われていました。『ここに来れば楽しいことが多い。昼食はカップラーメンを食べて、帰り際には風呂に入って帰るんですよ』と、笑顔で対応された利用者が印象的でした。

利用促進（事業内容）としては、レクリエーション行事はカラオケ大会・敬老祝賀会・ミニ文化祭・年忘れ芸能大会・七夕飾り・ゆず湯を実施し、同好会やクラブ活動は囲碁大会・将棋大会・書道クラブ・歌謡クラブ・バンパークラブ・リサイクル&手芸同好会と、多種多様

となっていました。

施設運営にあたっては、職員研修を重ね研究討議を行い、利用者の意見を基に職員の資質向上対策が図られていることが理解できました。

### マリーナ施設の視察

銚子マリーナ施設は、名洗港港湾計画を基に整備されたものであり、地域産業の振興と地域の活性化を起点に、都心から2時間で週末を大海原で過ごす優雅で大切なひとときを開放感が満喫できる施設として整備され、富裕層を中心に一日ゆったりクルージングが楽しめる施設であり、栈橋ゲートには24時間オートロック式で収容可能隻数計画は1000隻と、広大な広さが印象的でした。

浜田市には、長浜港近くに元貯木場の活用対策が論議されつつありますが、マリーナ施設も一つの案として検討すべきではと考えている一人です。



### 10月22日（金）高機能携帯電話(スマートフォン)導入について

朝9時から、千葉県流山市役所の市議会本会議場横の会議室で全国的にも注目されている、高機能携帯電話導入の経過について調査しました。

流山市議会は市民に開かれた市議会の実現に向け、情報通信技術の推進を求める決議を平成21年10月2日に行い、一年後の平成22年9月定例会において、全国で初めて高機能携帯電話を使った採決を実施されたのです。議員ごとの賛否をタッチパネル上の賛成・反対のボタンを押すことにより、入力結果は議場内の無線LAN（構内情報通信網）を通じて事務局のパソコンに送られ、即座に集計され議場のモニターに議員一人ずつの「O」「X」が映し出されるものでした。



議員の意思表示が、名前と共に賛否が表示されることは、住民にとって一つの判断材料となるのではないのでしょうか。個人的に、とても良いシステムと評価いたしました。視察研修後、実際に議場に入り議

員ごとのタッチパネルを押すことによって、モニター表示を確認しました。

浜田市議会の採決は、挙手か起立によって意思表示していますが、記録としては残りません。議員の自覚と賛否を住民に知らせることが、市民に開かれた市議会ではないかと思われました。



## 総 評

平成22年度浜田市議会政務調査費を活用しての会派視察は、浜田市の課題解決に繋げるようにと表面上に出ない苦勞話も聞くことができました。全国的にも医療現場における医師不足・看護師不足をはじめとするスタッフ不足は、自治体を取り巻く大きな課題となっています。

今回の視察内容「病院の再生」「老人憩いの家の活動」「マリーナ施設の活用」を、十分調査しました。今後の浜田市行政運営に活かされるように努力いたします。

以 上